

中国地方整備局とコラボ！

令和7年4月25日

小学生が障害当事者とともにバリアフリーを学ぶ

国土交通省では、共生社会実現のため、学生や社会人を対象としたバリアフリー教室を開催し、「障害の社会モデル」※1、「心のバリアフリー」※2の啓発活動に取り組んでいます。

このたび、広島市立船越小学校 5 年生の皆様を対象に、中国地方整備局中国技術事務所において、実際の路線バスを使った**バスの乗り方教室**を行うとともに、同事務所内にある**バリアフリー設備を体験**してもらい、**障害当事者のお話**を聞くことにより、児童自身に何ができるかを考えるきっかけをつくることを目的としたバリアフリー教室を開催します。

また、同事務所内に昨年 12 月に開所した**インフラDXセンター**にて、土木現場で活用されている最新のDX技術見学し、土木の仕事に興味をもってもらう取組を同時開催いたします。

1. 日 時：令和7年5月9日(金) 9:20～11:40
2. 場 所：中国地方整備局 中国技術事務所（広島県広島市安芸区船越南 2-8-1）
3. 参加者：広島市立船越小学校5年生 69名
4. 内 容：(1) バリアフリー体験（車椅子、高齢者、視覚障害者）
(2) バスの乗り方教室 (3) インフラDXセンター見学 (4) 講師による講話

※雨天時は(1)を中止し、バリアフリークイズを実施



車椅子体験



バスの乗り方教室



インフラDXセンター(写真は無人化施工)

※写真はイメージです

5. 主 催：中国運輸局、中国地方整備局
協 力：広島市立船越小学校、芸陽バス株式会社、
NPO法人日本頸髄損傷Lifenet 理事長 徳政 宏一 氏(講師)

6. 現地取材時のお願い

- ・当日の取材はバリアフリー教室に関する内容のみとさせていただきます。
- ・現地取材を希望される場合は、**5月8日(木)16:00**までに下記の当局問合せ先に御連絡ください。
- ・取材時は報道腕章を着用ください。
- ・取材当日は、中国運輸局職員にお声がけ下さい。

※1 障害の社会モデル…障害は個人の心身機能の障害と社会的障壁の相互作用によって創り出されているものであり、社会的障壁を取り除くのは社会の責務である、とする考え方。

※2 心のバリアフリー…様々な心身の特性や考え方を持つすべての人々が、相互に理解を深めようとコミュニケーションをとり、支え合うことです。
バリアフリー教室は令和2年のバリアフリー法改正に伴い「教育啓発特定事業」に位置付けられ、取組を強化しています。

〈お問合せ先〉

中国運輸局 交通政策部 共生社会推進課 担当：高田(たかた)・向原(むこうばら)

TEL：082-228-3499[直通] e-mail：cgt-sho-gyo@ki.mlit.go.jp

中国技術事務所バリアフリー教室

報道関係者等登録用紙

所 属 _____

氏 名 _____

連絡先 TEL : _____ MAIL : _____

以下にチェックをお願いします。

ビデオ撮影の希望： ☐あり ☐なし

カメラ撮影の希望： ☐あり ☐なし

《当日の受付について》

8時50分から中国技術事務所庁舎前で受け付けます。

最寄りの中国運輸局職員にお声がけください。

